

1 : 100



1 : 100



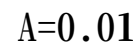
1 : 100



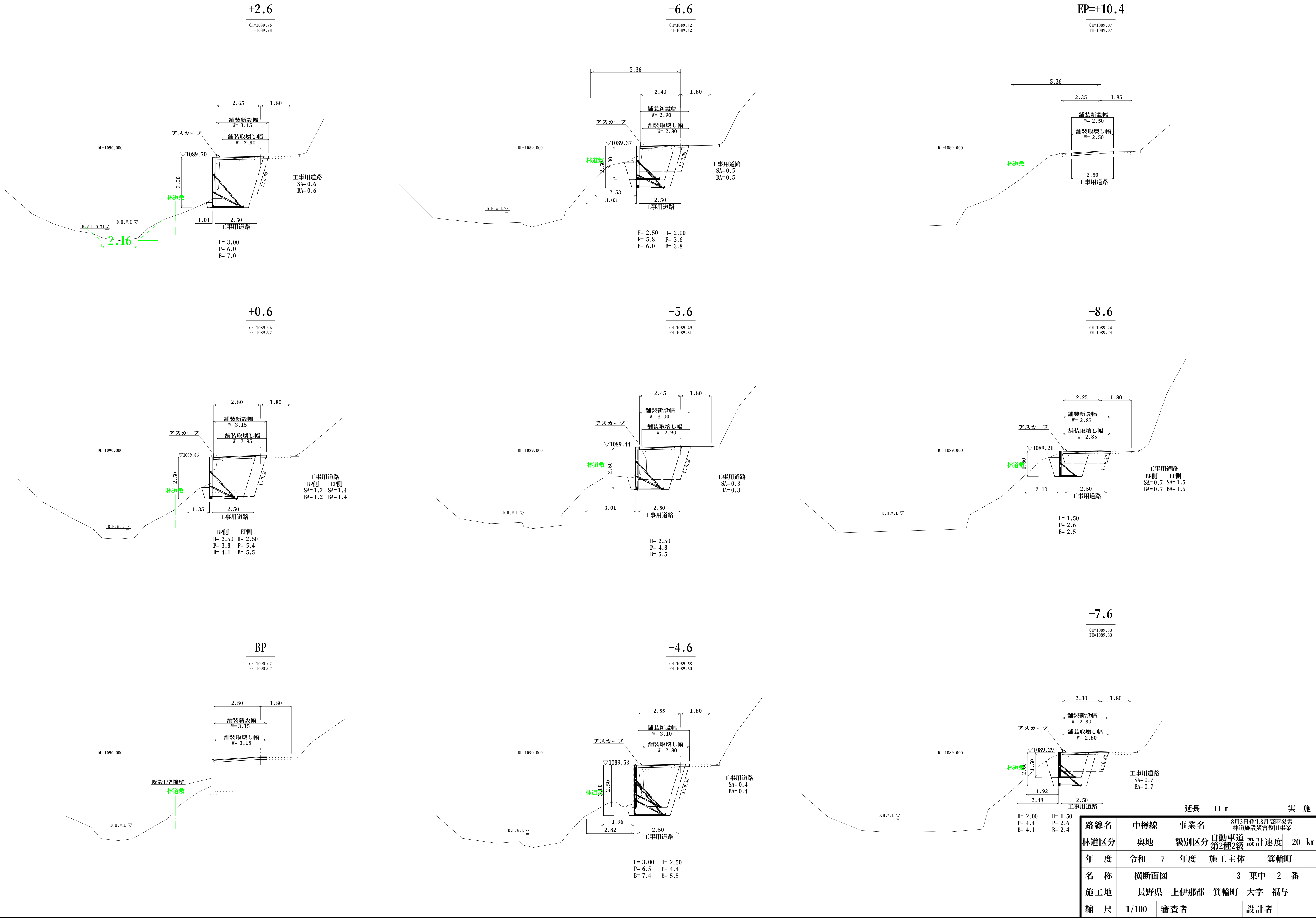
1 : 50



1:5



		延長		11 m		実施	
路線名	中樽線		事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業			
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度	20 km/h		
年 度	令和 7	年度	施工主体	箕輪町			
名 称	総合図			3 葉中 1 番			
施工地	長野県 上伊那郡		箕輪町	大字	福与		
縮 尺	図示	審査者			設計者		



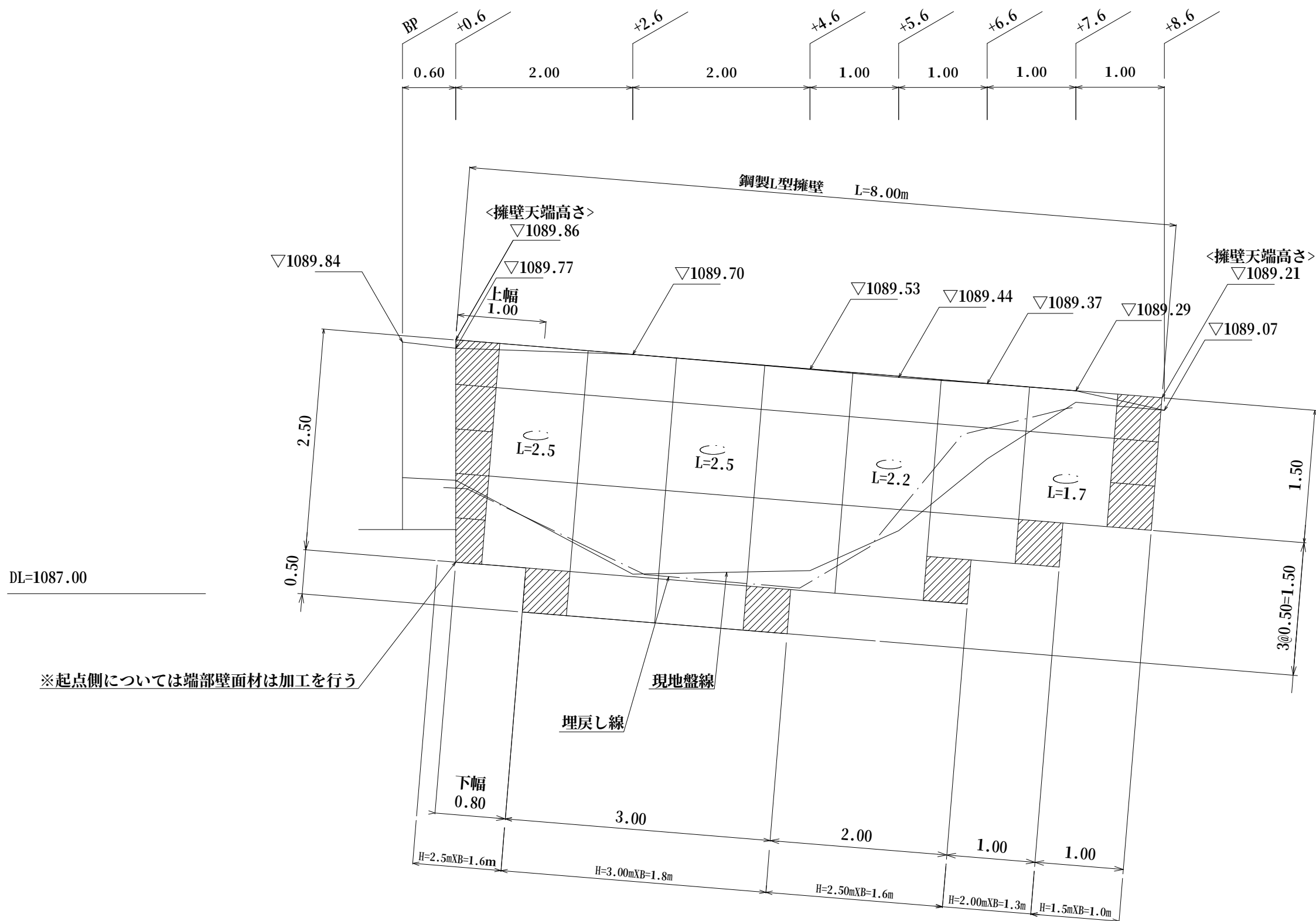
市道第 11 号		延長		11 m		実 施	
路線名	中樽線		事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業			
林道区分	奥地		級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度	20 km	
年 度	令和 7 年度	年度	施工主体		箕輪町		
名 称	横断面図			3 葉中 2 番			
施工地	長野県 上伊那郡			箕輪町 大字 福与			
縮 尺	1/100	審査者	設計者				

鋼製L型擁壁工展開図

S=1:50

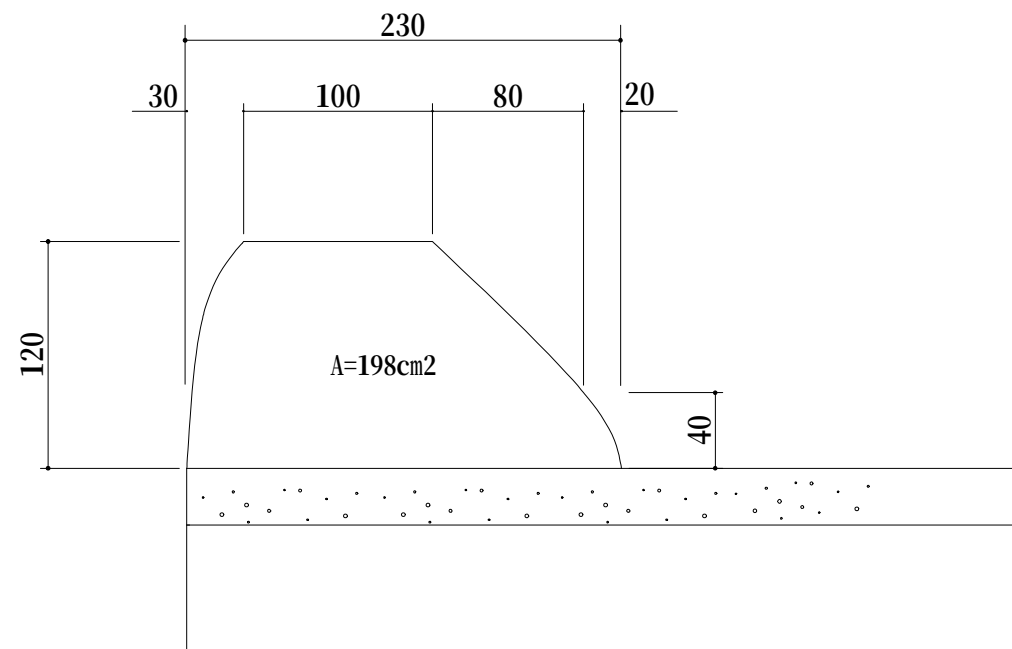
凡 例

- 壁面材(1.0m)
- 壁面材(0.5m)
- 端部壁面材(0.5m)
- 排水材 (10x300)

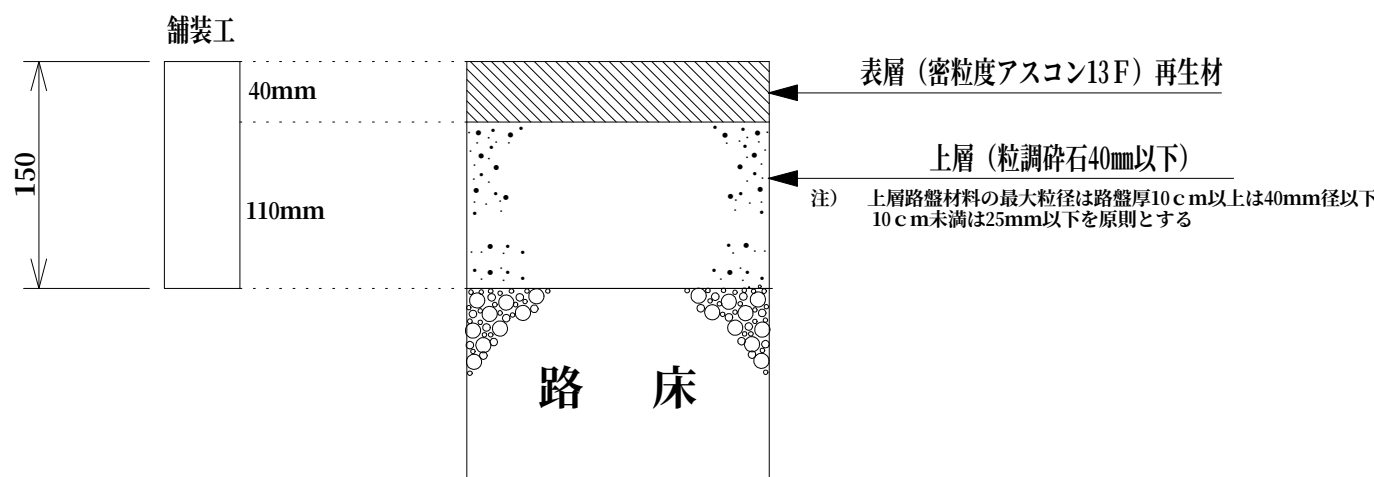


アスカーブ

S=1:40

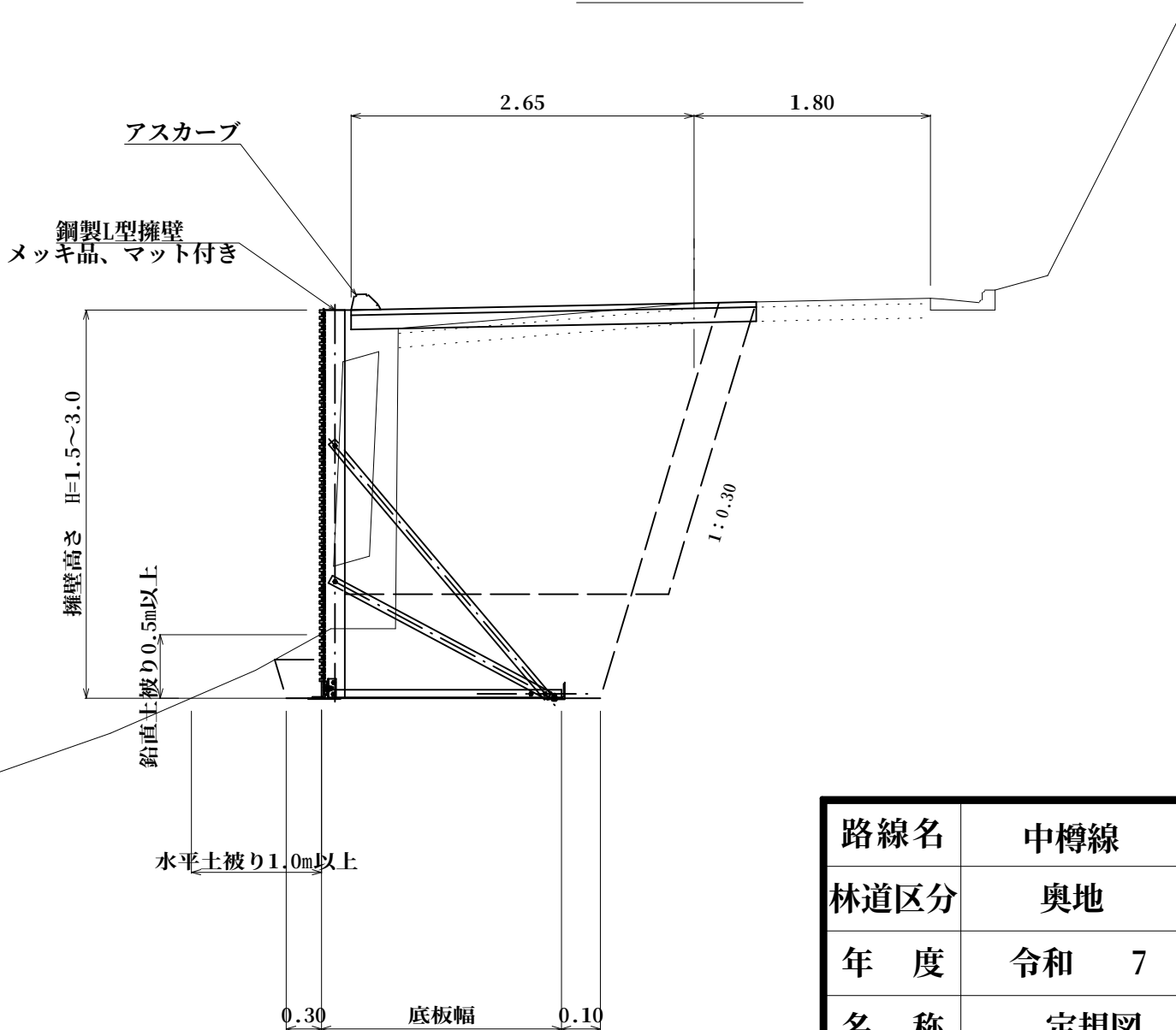


舗装工柱状図



標準断面図

+2.6

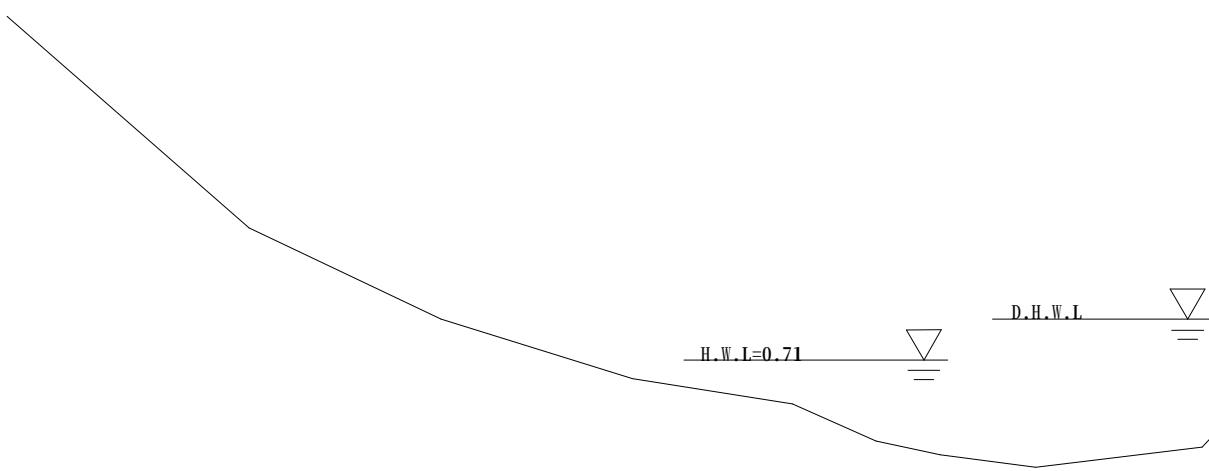


特 記 事 項	
- 盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。 - 背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような排水対策を施すこと。 - 実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか確認すること。 - 施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。	

施 工 管 理 基 準 値	
項目（頻度）	管理値又は許容値
盛土材の締固度 （盛土材500m に1回）	- JIS A 1210のA,B法による最大乾燥密度の95%以上、C,D,E法で90%以上とする。 - 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	所定の壁面勾配±0.03H(H:壁高)

設 計 条 件	
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 30^{\circ}$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{ kN/m}^3$
載荷重(活荷重)	$w = 10.0 \text{ kN/m}^2$

最大地盤反力度		
測点 +4.6	常 時	$q_{\text{max}} = 101 \text{ kN/m}^2 < q_a = 300 \text{ kN/m}^2$



		延長 11 m		実 施	
路線名	中樽線	事業名	8月3日発生8月豪雨災害 林道施設災害復旧事業		
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 第2種2級	設計速度	20 km
年 度	令和 7 年度	施工主体	箕輪町		
名 称	定規図	3 葉中 3 番			
施工地	長野県 上伊那郡	箕輪町 大字	福与		
縮 尺	図示	審査者		設計者	